

南台造成宅地滑動崩落緊急対策工事は平成28年3月すべて完成予定

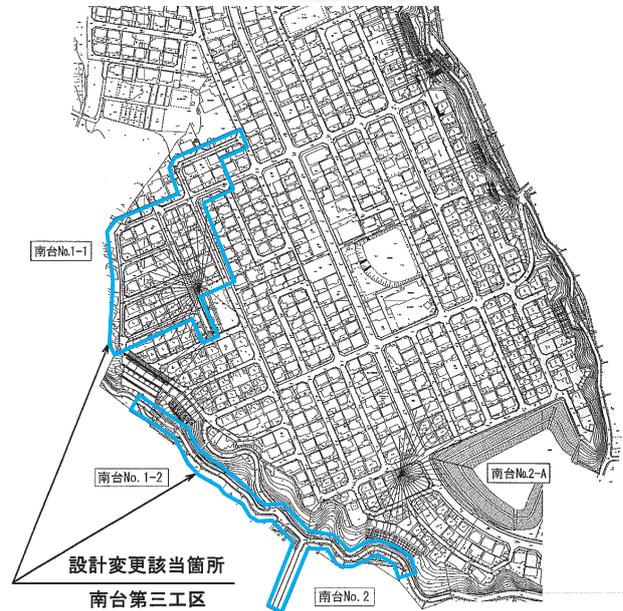
南台第三工区工事概要

本工事は、東日本大震災により発生した、法面大規模崩落の災害復興を行うため、国の復興交付金「造成宅地活動崩落緊急対策事業」により、平成26年6月から実施している事業です。

工事の内容は、法面に設置した抑止アンカー工や鋼管抑止杭工により、法面の大規模崩落を「抑止」すること、また、この崩落を引き起こした大きな要因の一つである液状化現象の発生をできるだけ少なくするための「抑制」を目的とした地下水水位低下工法（集水井工、集排水ボーリング工、透水管布設工）などの、工法を組み合わせた相乗効果による自然災害への防災対策を進めるものです。

12月議会において設計変更を行い、工事車両の通行などで傷んだ本工事施工範囲の道路舗装を、全面復旧することなどを追加し、平成28年3月中の工事完成を目指して進めています。

位置図



新しい教育長と委員を紹介します!



東海村教育委員会教育長

かわさき まつお
川崎 松男（再任）

<任期>
平成28年1月1日
～平成30年12月31日



東海村監査委員

どじり しげる
土尻 滋（新任）

<任期>
平成27年12月16日
～平成31年12月15日



東海村固定資産評価
審査委員会委員

さとう とみお
佐藤 富夫（新任）

<任期>
平成27年12月22日
～平成30年12月21日

リコッティ改め 東海村産業・情報プラザ(iVil)



交流・創業支援・情報発信の場

駅前という立地条件の良さを活かし、“村民の交流の場”として、多目的ホール、会議室、完全防音スタジオの貸し出しのほか、“創業支援の場”としてレンタルオフィスを設置し、創業を目指す方の支援を行います。また、ロビーなどを“情報発信の場”として、村の魅力を発信する予定です。

iVil (アイヴィル)

東海村産業・情報プラザの愛称。施設の目的を表す3つのキーワード『i(アイ)』と村を意味するVillageの略語『vil.』を組み合わせた造語。3つのiとは、【interaction】相互作用・交流など。【innovation】革新・新しく取り入れたものなど。【information】情報・知識など。